

令和2年度公立小学校等指導方法工夫改善実施計画書

整理番号

市町名 三原市

新規	継続
----	----

学校名 西小学校

校長氏名 延安 浩

I 学校の概要

(1)学校の教育目標

地域に愛着と誇りを抱き、夢の実現に向けて自ら学びを求め、行動できる子どもの育成

(2)指導方法工夫改善の導入年度 令和2 年度

(3)指導方法工夫改善の定数加配開始年度 令和2 年度

II 実施計画

(1)実施計画 (学年・学級数・教科等・増加時数・実施形態等)	実施 学年	実施 学級 数	実施 教科等	実施に伴う 指導時数増		実施形態予定	
				年間	週当たり	少人数指導	
						習熟度別指導 (A)	均質 (B)
						その他(C)	
						()	
						4 (前年度未実施内容T.T)	
						16 (前年度未実施内容T.T)	
	3	2	算数	350	10	346	2 (前年度未実施内容T.T)
	5	2	算数	350	10	334	2 (前年度未実施内容T.T)
	5	2	国語	70	2	68	2 (前年度未実施内容T.T)
					合計	748	22

(2)実施する学年・学級数・教科等,指導方法工夫改善に期待する効果及び具体的な取組方法	実施学年	実施学級数	実施教科等	指導方法工夫改善により期待する効果	具体的な取組方法
	3	2	算数 国語	算数科において少人数指導を実施することで、基礎的な学力の定着が不十分な児童は、これまで以上の丁寧な指導を実施することができる。また、ある程度理解できている児童へは、発展的な学習に取り組ませ、主体的な学びができるようにする。また、学習方法の習得をめざすことで、自ら学ぶ楽しさや自信につながると思われる。 令和3年度1月実施 標準学力調査 算数科自治体平均正答率 +5	各単元において、プレテストをすることにより、既習事項の定着の状況を把握し、それによって、担任がクラスを分ける。じっくりコースの児童数を少なくし、発展コースの児童数を多くする。各コースで、状況に応じて、じっくりコースは個別指導を主にして丁寧に進める。発展コースでは、授業の形態を明確にし、グループやペアを利用して主体的な学びや深い学びに繋げていく。
	5	2	算数	算数科において少人数指導を実施することで、基礎的な学力の定着が不十分な児童は、これまで以上の丁寧な指導を実施することができ、ある程度理解できている児童へは、発展的な学習に取り組ませることが可能になると考える。さらに、令和3年度に実施する全国学力・学習状況調査に向けて効果が期待できる。 全国学力・学習状況調査の目標値 令和3年度全国学力・学習状況調査 算数科全国平均正答率 +5	各単元において、プレテストをすることにより、既習事項の定着の状況を把握し、それによって、担任がクラスを分ける。人数的には、じっくり学習した方が適している児童の数を少なくし、発展コースの児童数を多くする。各コースで、状況に応じて、じっくりコースは個別指導を主にして丁寧に進め、発展コースではグループやペアを利用し、主体的な学びができるように進めていく。
	5	2	国語	国語科においても、算数に順じて、個々に応じた丁寧な指導を目指していく。全体授業の中で、課題を明確に掴んだ児童が活用部分の目標に向けて、主体的に学習できるように、指導・支援していくことで、活用的な力が向上することを期待する。また、言語指導についても、丁寧にかつ、繰り返し練習し、学びの定着を図る。 令和3年度1月実施 標準学力調査 国語科自治体平均正答率 +3	週1時間なので、状況に応じて、小集団で丁寧な指導をしていく。じっくりコースでは、基礎学力の定着を目指し、発展コースにおいては、活用力の向上を目指す。特に、読むことに関する事項の言語活動のために、情報やスキルの提供をしたり、指導・支援したりする。また、言葉の特徴や使い方に関する事項の定着を図るために指導法の工夫をする。

Ⅲ 保護者や地域への説明

学校だよりや学級通信及びホームページにおいて、指導法工夫改善の指導教諭の意義を説明し、児童の学力向上のために配置されていることの理解を得る。